

平成 21 年 12 月 18 日

平成 21 年 12 月 定例観察会報告書

源平を偲ぶ古道を散策

六甲山自然案内人の会 3 班

1. 実施日及天候：平成 21 年 12 月 12 日（土） 9：30～14：30 晴後曇
2. 参加者数：ビジター 19 名 会員 17 名 計 36 名
3. 観察コース：しあわせの村→旧白川古道→山伏山神社→しあわせの村
4. 観察の概要
 - (1) 歴史
 - ①鷲尾家：一の谷合戦の時、義経軍を鶴越から一の谷まで道案内をし、結果源氏の大勝利となった。恩賞として鷲尾の姓をもらったのが始まり
 - ②山伏山神社：鷲尾家の氏神。猿田彦大神を祭る。昔遊女が月参り。イボ、タコ取りに効く
 - ③石抱きカヤ：兵庫県 8 位の巨木。石柱とエノキを抱き込んでいる
 - ④徳川道：柚谷から明石の大蔵谷に至る西国街道の迂回路。神戸事件もあり 1 ヶ月で作られた。徳川幕府の崩壊で一度も利用されず。道標あり
 - ⑤大歳神社：白川の郷は古くより開け楊梅（ヤマモモ）を献上していた。創建年代は不明だが 995 年以前よりあった
 - ⑥夫婦岩：雄高座、雌高座という大きな岩がある。神代の昔、イザナギノミコトとイザナミノミコトが国作りのあと休まれた
 - ⑦化石の産地：白い凝灰岩の中に 1500 万年前の木の葉。昔湖底だった
 - (2) 植物
 - ①しあわせの村：メタセコイア（生きた化石と言われる）。アメリカフウ（枝に翼）、シナサワグルミ、サザンカ、ビナンカズラ
 - ②白川道（熊谷道）：タラヨウ（葉書の木）、ノブドウ、イタビカズラ、オニノゲシ、ニセアカシア、アキニレ、ムクロジ（羽子板の玉、数珠球）
 - ③白川橋から夫婦岩：ボケ、センダン、ゴンズイ、トベラ、ピラカンサ、マサキ、スイカズラ、カナメモチ（バラ科）、ヤブニッケイ（クスノキ科）
 - ④雄高座周辺：シャシャンボ（実がおいしい）、ナナミノキ、ソヨゴ、スタジイ、リョウブ
5. 反省点ほか
 - ・ 予定地のしあわせの村中央バス停まで来ないバス路線があった。
 - ・ 配布資料（地図など）がなかった。
 - ・ 初めての観察コースだったが、参加者には喜んでいただけたように思う。

以上

平成 21 年 12 月 18 日

平成 21 年 12 月 定例観察会報告書

観察会風景

	
しあわせの村	山伏山神社

		
ムクロジの実	ムクロジの泡	白川の地層
		
ソヨゴの実	ヨコズナサシガメ	マサキの実